



79  
4109  
3



門ヲ9  
號 4109  
3

一 寸尺

教寄屋方諸事寸法秘要

付 兼 乃 前 小 乃 具 寸 法

- 一 教寄屋<sup>とま</sup>なる<sup>の</sup>軒<sup>の</sup>め<sup>と</sup>と<sup>の</sup>敷居<sup>の</sup>乃<sup>と</sup>上<sup>り</sup>の<sup>と</sup>を<sup>と</sup>さ<sup>り</sup>て<sup>は</sup>け<sup>を</sup>人<sup>と</sup>
- 一 等<sup>と</sup>も<sup>と</sup>く<sup>も</sup>と<sup>も</sup>一<sup>と</sup>と<sup>の</sup>末<sup>の</sup>寸<sup>の</sup>あ<sup>ち</sup>ヲ<sup>二</sup>寸<sup>四</sup>分<sup>又</sup>又<sup>分</sup>
- 一 即<sup>し</sup>い<sup>の</sup>形<sup>れ</sup>を<sup>と</sup>四<sup>尺</sup>八<sup>寸</sup>
- 一 二<sup>枚</sup>厚<sup>さ</sup>の<sup>乃</sup>上<sup>け</sup>の<sup>と</sup>七<sup>尺</sup>八<sup>寸</sup>又<sup>分</sup>
- 一 ち<sup>の</sup>ひ<sup>の</sup>縁<sup>の</sup>並<sup>に</sup>二<sup>枚</sup>一<sup>と</sup>わ<sup>ら</sup>ひ<sup>の</sup>け<sup>の</sup>乃<sup>中</sup>と<sup>も</sup>一<sup>と</sup>
- 一 ち<sup>の</sup>ひ<sup>の</sup>乃<sup>中</sup>と<sup>も</sup>一<sup>と</sup>四<sup>尺</sup>四<sup>寸</sup>又<sup>分</sup>同<sup>じ</sup>の<sup>つ</sup>と<sup>二</sup>枚
- 一 一<sup>と</sup>わ<sup>ら</sup>ひ<sup>の</sup>と<sup>も</sup>一<sup>と</sup>四<sup>尺</sup>八<sup>寸</sup>也
- 一 一<sup>と</sup>寸<sup>同</sup>乃<sup>の</sup>と<sup>も</sup>七<sup>尺</sup>二<sup>寸</sup>

昭和 紅筆 和作氏 贈

一二枚しやうし冠の下のり又尺三寸同懸居りし二寸  
六分ありしと九分半とぞ六分ありせ三分同くしのは産輪  
しと二寸七分厚さゆして八分外なる九分半とぞ三寸

一掃は此口のまゝと又尺二寸五分とぞ式尺のりお乃とぞ式寸  
八分厚さのみかまなるりし三分とぞ六分竹乃わう立節  
ありし下し七寸六分上し四寸七分節乃敷又つせうとの  
子此敷たてし二寸とぞ十三分

一火燈口のまゝのり三寸八寸すしこのりも三寸九寸三分  
但しありしと乃とぞ三寸七分厚さ九分同くしのめとぞ三寸  
七分厚さ九分半ありし三分

一回のりおまゝ六分しやうし乃子此敷しこのりあり  
まの式なりしこの敷し七寸上三寸のり  
とありし厚又分はしと相しとられしよりとぞ  
すしと九分とぞつげてくりつとすも也懸居り  
とく又分とぞ

一床乃とぞ四尺同くしと式尺四寸是の置る床乃ゆらり  
しと二寸六分厚さ三寸五分板のりし人のらり六分  
一同天井此のりも産輪の下端より七尺三寸産輪此れと  
と三寸三分又し四合但七尺三寸六分あり昔ははるりしを  
一回のりしとけと床乃られる四尺八寸板の面と物敷寄  
次才昔目伏見ありしを別床板と板乃敷とれ丸まに  
てこのり相板の粟五拵実とれ利休の赤板乃は付

桐子いささ角又古田氏乃床板も変大角一  
多の深心りさの松乃素てこのめ小枝く付

一床の内より窓古田氏ハ地敷居より三尺三寸又旁より  
又を列ハ地敷居より一尺七寸より有窓乃大さこ長  
三尺六寸又分幅三尺寸利体地敷居より一尺九寸又分  
上より有長三尺七寸又分幅三尺寸又分

一床掛拍りけらさ九分角よりして先き分四方よ中ハ  
式分窓の皮ちの方より上よりさな中分ほりよ  
付丸竹釘也

一掛毛生れ釘地敷より三尺式寸但折らさ地外法  
又分曲つて四角也座多床張乃板をく打事もあり

是も三尺式寸床さこ耐く右の寸法と床縁長とて打  
一釘舟の釘床乃板よりけ板方中板よりけ角  
又打丸竹釘也

一床天井ハ窓列あより一枚板より多曲り縁を入か  
天井也或ハ枚板砂より相のまづり板より縁色して古法  
の趣也又天井又利体天井より六尺式寸天井ハ縁竹枕  
縁床也天井ハ寸けの中とと小くさる事あり  
古田氏天井縁又竹と枚小丸巻てこのめつ多打交あり  
多京よりとて細さるより天井板下包より天  
井此時ハ窓角本式ハ板勿端御大人能より桐の目通  
より板のこの好を別な法並より多るを柱の本式ハ

わさ二寸八分九分三寸とく也

一板敷のささ本式変形の上端とひき尺の寸さす二寸五分  
一踏のりともサ式尺二寸幅式尺

一物一く乃鴨形の厚さ五分五厘よりして寸あり又寸五分と  
一踏揚のさ変形ともさ敷居也戸板の幅五分中板寸戸

一尻守板ともさ寸あり一厚さ五分と  
一同上乃竹連子内一やうと也恰合見合物敷寄は寸

一懸腰張のささき尺八寸式分踏揚は掃窓の下と懸踏也  
一紙の墨流みると紙裏書き其外面に物敷寄として懸

一を紙の裏に紙裏を用利体めく紙のうらにりやと付て  
くくくくくくくくくくくくくくくくくくくくくくくく

くくくくくくくくくくくくくくくくくくくくくくくく

一大周のささ六尺式寸六分の言也尺の裏に尺の中柱の上は寸  
とわく六尺七寸あり一ささくくくくくくくくくくくく

一本跡をともして尺本打て女竹式ありびうくくくくくく  
乃所を切り一垂本に同く一縦よき本入るうらあり

かさ付る也ささくくくくくくくくくくくくくくくくく

くくくくくくくくくくくくくくくくくくくくくくくく  
の付いさくんと打て緒縄を付くぬいり尺くくくくく

一尺大和ぬき乃付くくくくくくくくくくくくくくくく  
一大周の天井と懸天井ありに懸付の色く物敷寄は

丁度此時いつき上乃窓とせ

一大同置めて長二尺七寸三分内中板五二尺三寸五分  
中板の上を尺八寸八分幅三尺三寸五分

一列竹の下めくろ所式尺二寸三分竹原と九分幅  
三寸八分也引つけれ六分幅にしよう也

一曲板面付三寸八分四方式尺三寸五分もすけしせ  
天井際しつゝ又あへんうめうられど一但おま

板成海よりすゝ時あかかとうろろろろろろ  
方より切り入らるびよくゆらゆらと

大五何もえきんりり  
一中板と袋掛訂ハ引竹の下端より三寸六分上

板此其申色紙窓は向もせく打也折訂外のり  
又分札の長と四寸勿端座をて

一厨炉先此窓鴨居内法長五尺八寸八分幅三尺三寸下地窓  
よりすゝ也角く丸くわり也一此板居より七寸五分

一敷居三尺三寸又分一倍よりすゝ也又わり也一此板  
はりすの竹よりすゝむ鴨井同三尺三寸又分わり

一過り地はせうと一立鴨井敷居榎角と一さう  
外よりすゝやうと一りもたう時あけし

一外よりすゝまふ付夜舎り時あけし  
外よりすゝまふ付夜舎り時あけし

一色紙窓上下色紙を張つれりあへんつ物とす

長二尺七寸五分幅二尺三寸八分

一鴨井表層厚さ九分宛大圓柱長一倍二通但一筋植也

一鴨井厚さ九分幅二尺三寸四分

一窓小美巾一換又二通不可厚さ四寸幅五分厚也

一外の方障窓よりそのより又竹又布也

一障子を本物よりしてしに緩七本横二通を別障子に

一第一但物よりして厚さ三分中一分

一同一窓長二尺八寸五分幅二尺四寸六分但下地窓より

一内より幅二尺二寸五分宛角くさめり中より

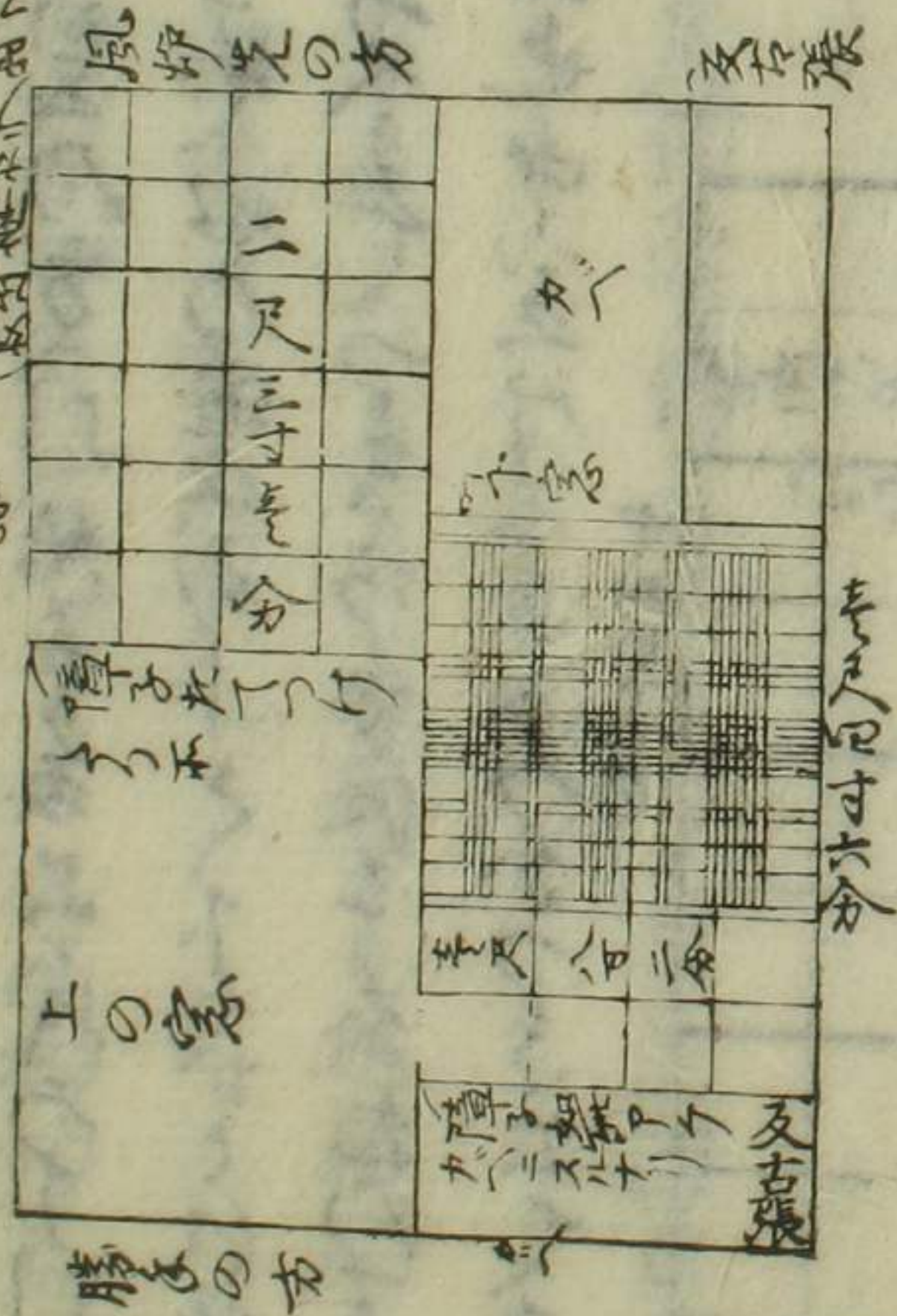
一中柱より向へく竹れりしてそのを筋通す也

一向方よりして二尺三分幅一尺二寸五分の後に二尺七寸四分

一障子三日本換甲の巻れり也障子乃子三寸五分幅二尺三分

一或尺七寸五分幅植也但三寸五分厚又五分厚也

色紙窓の番



鴨井の厚さ

鴨井

障子の厚さ







一窓の懸戸の事一丸の打縁小窓の戸はうん中を通  
中窓の中にか通大窓の三通より

一刀急子の相長さ二尺七寸幅五尺六分但縁より長さ  
三尺七寸の内より寸七分宛四方より五尺八寸宛まで  
角より直縁の長さ九分厚さ七分也中三本の縁の長さ  
厚さ七分

一回下相長さ二尺七寸七分幅九寸四分縁を此入横上欄の  
角の本も同也上下此欄五寸釣木七分と六分下の  
本は角より六分あり

一刀懸戸下京石石成り也先を削り刀懸石と云也扱  
石はら傷より刀掛の上欄より三尺三寸故石成り

其後刀掛と云也  
一踏揚り石と云也一尺二寸五分又分懸戸板より二寸五分  
際より八寸

一相居り石と云也一尺三寸五分  
一懸石の事と云也通面より宛相遠りより宛宛然と云  
角の事也何れ世書よりあり先高氏より云石角阿  
角を揚り執ると云也一尺二寸五分又分遠別の石色  
赤代好まぬより寸五分也利休の石はるり菅の  
一尺二寸五分石と云也一尺二寸五分又分遠別の石色  
赤代好まぬより寸五分也利休の石はるり菅の  
一尺二寸五分石と云也一尺二寸五分又分遠別の石色  
赤代好まぬより寸五分也利休の石はるり菅の



丸く形として打也幕さうけく見く下より八寸  
上より七寸也

一 張りつものひさしとも其外無懸けつ下と六尺宛也

書隠の寸法此事

一 扇の日本式大ねがさ板のりきとて

一 柱の押ささ寸七八分三寸とて一粟は皮付又ハ板丸ま

一 ちりねとて窓のちりねとておろし又尺八寸なり

一 簾と仰りちりね戸はちりね三寸すの也とて三のちり  
ね下までくくすなり也

一 ちりね竹也戸の二方の尺八寸は鴨居入ぬたちり  
ね張りのちりね戸は三幕のちりね二方の尺八寸はけつと貫也

一 一也二也三也のちりね竹也最もくくすのびくは幕のちり  
一 窓よりしき尺七寸とて一ちり窓の長とせ尺七寸とて  
一 尺三寸なり窓の中より竹の柱をちりね窓の  
一 間より上下の窓はちりね也

一 坪の内幅九寸深と九寸長と尺八寸

一 坪のちりねもちりね幅一六寸又四方深と九寸

一 六寸のちりね松葉入敷上り秋ちりねの葉とて入る

一 塵落し一乃内は竹箆かちりね長と九寸又分本四角

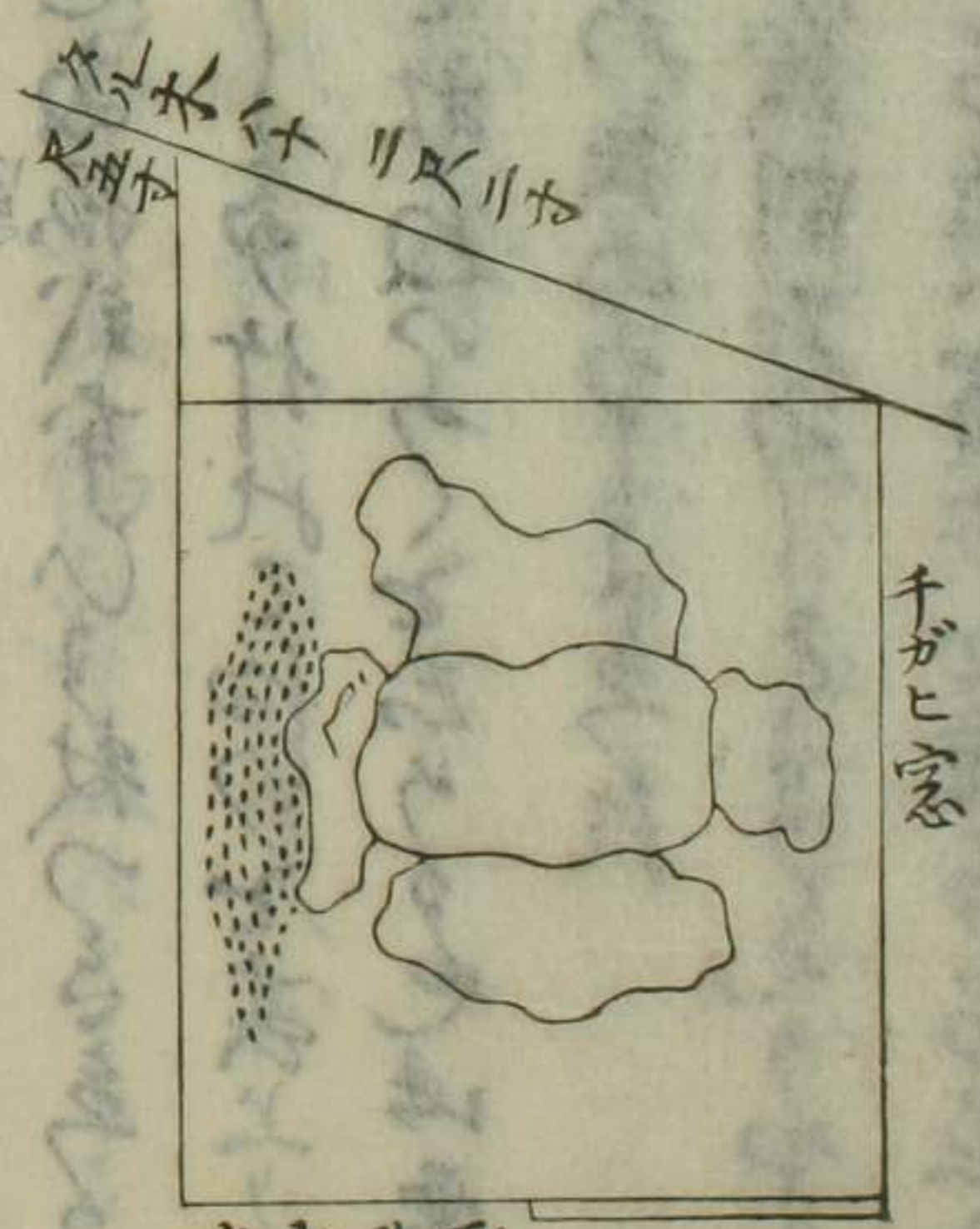
一 小丸くけりちりねの一文字かちりね三寸又ちり  
一 節ちりね竹の皮其俣竹垂垂竹を用く也同葉あり

一 並合りかちりね葉くくくちりねあり

- 一 簾落し一乃相平此石蟻きりしりし坪の内と貳尺
- 一 目筋の石れきとせしりし七寸又分但此石の丸くなりし
- 一 石の系あるも地きんわくし一の石くもき
- 一 縁の石う人際しり守きとちり一守又分也
- 一 戸は長四尺六寸と分尺貳寸
- 一 鴨居内法おしり又尺八寸
- 一 戸摺り一守又分戸は内法石より三寸又分
- 一 觸枝長と二尺二守原と七分幅三守但よりしりし
- 一 櫓板高と九寸後の方き八寸也
- 一 戸はしりし向角板と寸貳尺め竹を立帯しり釘打し
- 一 くらどお板帯乃先と八寸とく打也但九釘也

- 一 萱葺乃雪隠八片端がとて貳尺半ありと三寸上貳向
- 一 けり端六尺ありと四角縁と付八片端の方客は尺の板
- 一 けり片端のと六尺ありと六尺ありと八寸半窓乃如
- 一 けり戸と掛り也板式本しり杖つと三寸や縁の着
- 一 板竹しりきりし一板竹はこ向のと其上より板板
- 一 板よりよりしんとおねりしを志り也此雪隠葺りし
- 一 雪隠しりし路化乃柱の中より
- 一 柱雪隠の白朱石が割石ありとちりしやちりし
- 一 事也下腹雪隠の濱砂と並石雪隠ありし
- 一 濱砂と並時し下腹雪隠也
- 一 下腹雪隠の尺又寸四寸又尺又寸新下と三寸

也雪隠乃置板長三尺七寸幅貳尺八寸おろし口の長三  
 尺七寸幅七寸おろし板厚サ六分幅



雪隠ノ内惣ノ下  
 ラ小石ラセテチリ  
 オニシテ坪ノ内九  
 寸何モヌリマス

一雪隠ノ戸はくわす式尺三寸長ケ四尺三寸釣所おろし  
 又寸五分おろし釣  
 一おろしは雪隠ハ腰懸くつて雪隠一ツくわす

一雪隠一ツ下腹雪隠一ツ以上三ツ也此外は序立此の  
 鍍乃向く也

天井の高さ七尺又寸 床の板寄金一尺二寸

一床板乃ちくくく字地を張らるし式尺又寸

一床板はねどくくけを別鴨居よりして上へ入る如け板敷

一寄大工素細が得り

一天のき度の指後く七寸く然り長さ二寸七分半曲りの  
 ちが七分半

天井の板は如斯くさを指すへの高は二ツの  
 横は指す釘上の天井の板の上下の八天  
 井の板の二指す板をいさるるなり



利休堂古寸法

一 長さ二尺 長ヶ五尺八寸五分

一 深サ一尺三寸 棚乃五尺六寸一重一枚板とて物柵板

とて一尺前乃方うら分掛此方板板より五分三寸下竹  
らこぎ新てそ秋く柵抄けけ

一 前戸二枚障子うら 高厚有書よて表裏強ま

中又切引ひあ方此端よ付の後の方の板戸之堂古の四

戸裏のま板より二枚戸也わらけのりて鎖ちり  
柄よりすく也

吉田氏堂古寸法

一 長さ外法三尺六寸 長ヶ内の一尺八寸五分 深サ一尺

三寸大目端へ押込也り像尺の面を寸天井の方り

まよりと大角角うらわらけよりまよ高也前戸戸裏は

いりま又利休堂古と同じ

一 内乃らびたか風炉之の長さ尺八寸五分五分

傍此方長さ五尺又寸と目前風炉之方柵天井

よりと六寸下て物掛乃方天井よりと四寸下て物

掛此方六寸四方乃物束六分り角うらわす也後のあ

と三分六分也柵を後の方へ寄て戸一倍り物也竹成

色付よりしてすのうら奇麗よ物成なり

水鉢の古寸法

一 高さ一尺一寸五分 水鉢乃よりと式尺五分但石よりうら





式尺六寸幅五尺式寸六分

一 遠棚の厚のすくくく五尺五寸

一 ちふふ此棚の板厚さ五分寸板のくく

一 袋の戸板五寸五尺五寸

一 長六寸七分板厚五分九寸五分寸一後五分六分

柵様棚の寸法

一 長五尺五寸五分内のくく五尺五寸

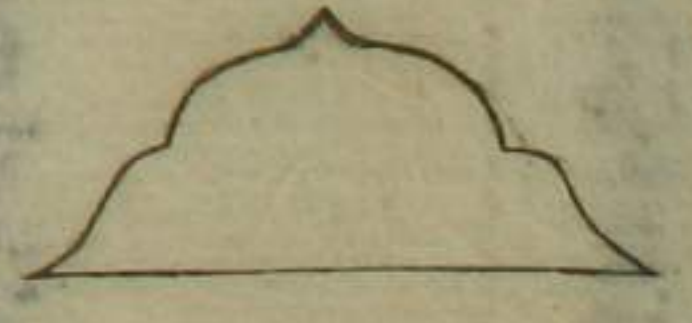
一 幅八寸七分寸四角下棚のくく五尺八寸内のく

一 中棚のくく天井板厚五分八寸内のくく板のくく五分二分

一 入く板のくく上中ノ棚板厚五分六分九寸

同柵様棚寸法

中棚のくく一如



一 長五尺五寸六分 天井長二尺二寸三分

一 同幅寸五分 天井と中棚の厚五分九分

一 中棚と下ノ間九寸 板厚五分

一 板厚五分中棚のくく五分

一 同中棚のくく五分

一 下ノくくくくくは板のくく五分

小及甚寸法

一 惣長五尺式寸五分下ノ板長五尺式寸

一 同幅八寸六分板のくく五分四角のくく

一 上此棚下の厚内のくく五尺下ノ板と厚板と五分五分は

一 一板のくく五分五分下ノ板厚五分五分板

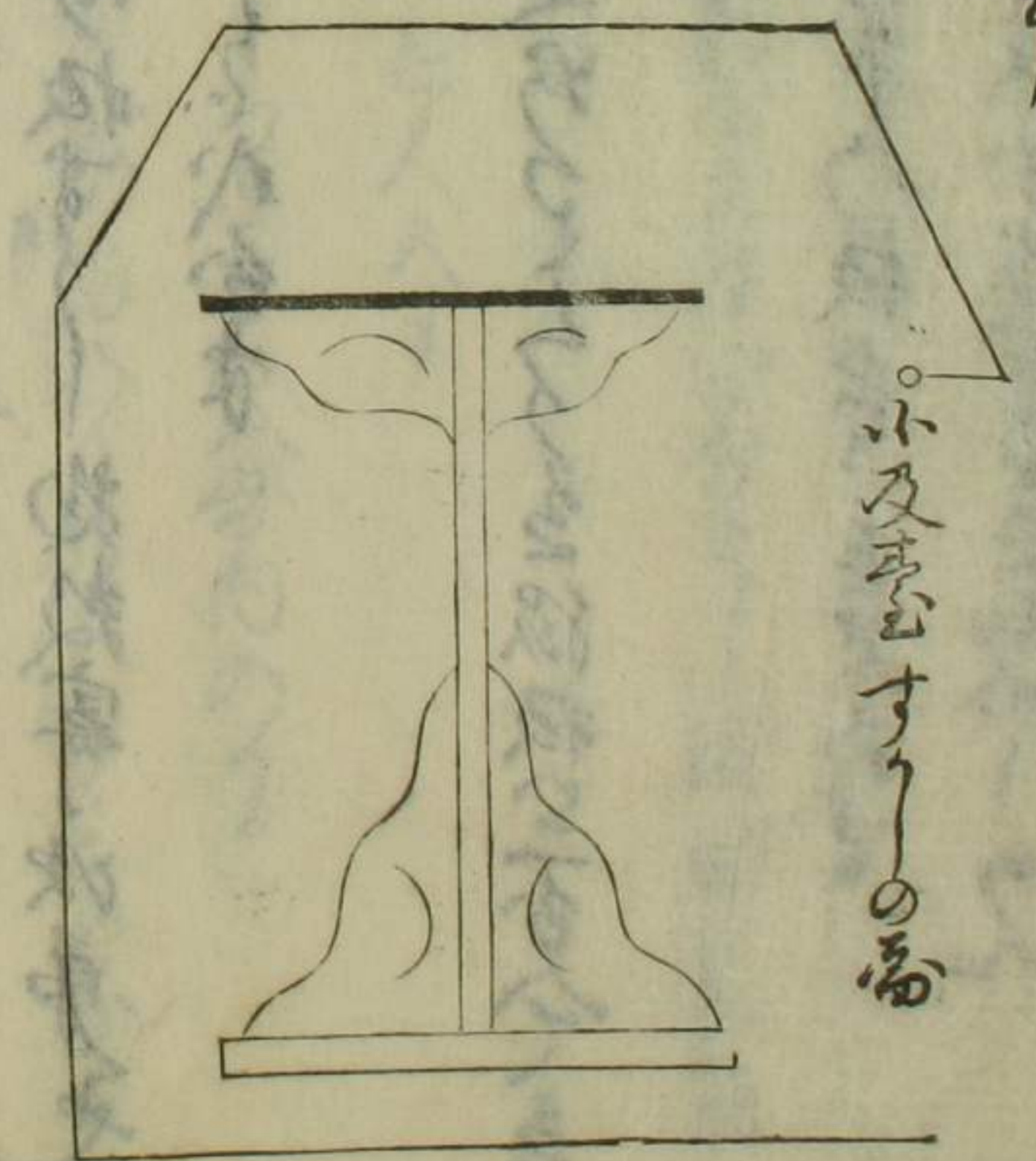
一 板の長さを二尺一寸五分  
一 板の幅を二尺一寸五分  
一 板の厚さを二寸五分

長板の寸法

一 長さ二尺九寸

一 幅を二尺四寸

一 厚さを二寸五分



小及表すうりの高

鏡の寸法

一 長さ一丈二尺八寸五分  
一 幅を二丈一尺二寸五分  
一 厚さを二寸五分

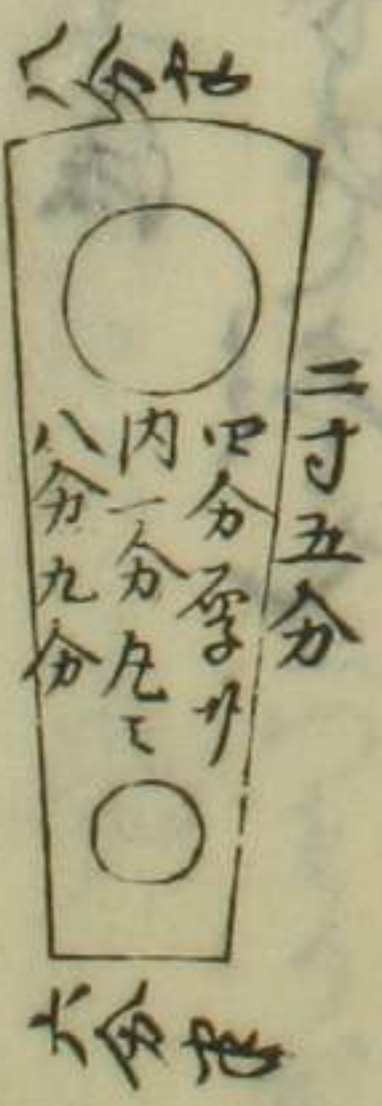
自在寸法の事

一 長さ二丈二尺八寸五分  
一 幅を二丈一尺二寸五分  
一 厚さを二寸五分

雪隠箒の寸法

一 柄の長さを二尺一寸

一 柄の末の厚さを二寸五分  
一 柄の幅を二寸五分  
一 柄の根の厚さを二寸五分  
一 柄の根の幅を二寸五分



一 幕長さ六寸五分十厘のよう〜幕但續下げせうふ  
物とす新酒を酒樽と造る物也

一 緒のけく所の定めて又分

一 竹さりの上縁ありぬ長さ六分

刀懸の掃ふの幕の寸法

一 抽長さ三尺五分又分 五分五分とて書し

一 令蘭とて包下守り二所法上の五分寸

一 寄り〜此長さ三尺五分十厘のよう〜てゆ成乱

一 長と又ゆ也

奈良風炉寸法

一 一〜後〜三尺五分七分 長さ六寸五分

一 心法九寸五分は口の幅六寸一分同長さ三寸八分縁七分八厘  
と純より丸の〜

羽幕寸法

一 羽乃ろ又寸一分竹の皮と羽丸一分筆皮〜包所三寸

五分縁つこのと〜羽丸と此寸法〜て色不及りり

一 足合てゆつ也と〜角棚の九寸あり〜と並つ〜る肝邊

風炉先屏風の寸法

一 長さ三尺五分又分又三尺又〜寸九寸五分次第 葎子屏

一 風の長さ三尺八寸五分

一 右此屏風の裏面〜〜と繪と書也色紙冊尺張りあり

縁の仕様は此の如く之を平く打付たり  
す多也 卷子厚同く仕様は此の如く之を平く打付たり  
色く吟味あり布は此の如く之を平く打付たり

一板の厚さ六分長さ九寸八分末口は九寸五分末口は九寸五分  
折つけは端入りは上黒ぬり也

遠州の藩板寸法

一丸板大八尺九寸口方九寸五分末口は九寸五分  
五小八尺指板は縁は二尺二寸五分末口は二尺二寸五分  
十口は十三寸

一板の厚さ六分長さ九寸八分末口は九寸五分末口は九寸五分

一長母三尺三寸五分 幅九寸五分 板厚三分末口は二尺二寸五分  
二十一寸八分

竹輪寸法

一長さ六寸五分 幅五分 又の寸法は良

柔巾の寸法

一利休は七寸五分  
一織物は六寸五分 布は五分  
一遠州は五分 布は五分

右柔巾式は此の如く之を平く打付たり  
ふつ布六寸五分切端縁も此の如く之を平く打付たり  
この是と云ふは此の如く

笠焼寸法

一布幅四方又切縁少せぬい又す後みかへけい又切の方又  
ぬれ右各巾系巾くく又八溝布片正紐布びりれす

焼巾寸法

一利体ハ長さ九寸幅くくハ五尺

一織子ハ長さ九寸幅くくハ八寸七分

一遠別ハ九寸又分幅八寸七分

水盆寸法

一板中け物くく後後く又寸又分 長八寸又分

懸棹寸法

一長さ三尺四寸又分竹の太さく三寸又分口分太口矢く

て穴を明紫皮く緒と舟底の編紐りくハ五

長火箸寸法

一長三尺寸又分 作りく作りく作りく又字切又分のけ  
九分跡先を分は並く並く並く作りく作りく作りく也  
袋火箸ありく也

炉火箸寸法

一長さ八寸七分四寸六分柄二分おのく針くくく柄柄  
けづの棟棟は通但本ハ素より

風炉火箸寸法

一長さ九寸又くく切但袋火箸くくく素元くく

おる又唐くま目かしてかろののりさうさうさうさう  
火着一入より

灰棟寸法

一 栢の長と又寸内を寸二分のりおすの事也すすの所  
を寸二分のりおして同く寸二分のりおす  
よりろりよりす多減ア形也と出これ世に多  
一 栢の長と又寸二分内同寸二分竹皮して出の所二所  
かす也但書そりて出  
一 どのの栢の長と寸二分のりおす  
一 どのの栢の長と寸二分のりおす

底丸寸法

一 栢の長と寸二分のりおす

条笥洗寸法

一 栢の長と寸二分のりおす

片口寸法

一 栢の長と寸二分のりおす  
一 栢の長と寸二分のりおす  
一 栢の長と寸二分のりおす  
一 栢の長と寸二分のりおす  
一 栢の長と寸二分のりおす  
一 栢の長と寸二分のりおす

栢板寸法

一 栢の長と寸二分のりおす

茶釜寸法

一 長テ三寸五分内節より下五分より五分余

炭瓦寸法

一 箱口の幅は七寸五分四方同寸とせ三寸五分箱の長  
四寸又重 瓦は長テ四寸五分内より五分五分下は強丈入  
本より五分四方但張丈は五分五分箱の内に入れて五分箱  
の縁は揃く箱の内下と同寸五分箱の板の厚五分  
一 或重 底板同寸也

敷寄金形焼寸法

一 八寸四方上式分すより 六分は四方板の寸とて産の寸は  
五分八分 或分は板とけし五分五分は打也竹と五分五分割

中の節許よりして産は五分五分は寸の節は五分五分

此より五分五分は相也五分五分は竹の角遠とする也

一 路地打焼は寸法同寸より一板板より打付同寸五分

五分五分は五分五分は五分五分は強也五分五分は五分五分

五分五分は五分五分は五分五分は五分五分は五分五分

角遠とする也五分五分は五分五分は五分五分

一 右よりして大竹と小口物よりして長八分也去器は焼土

器也路地打焼は五分五分は五分五分は五分五分は五分五分

短敷寸法

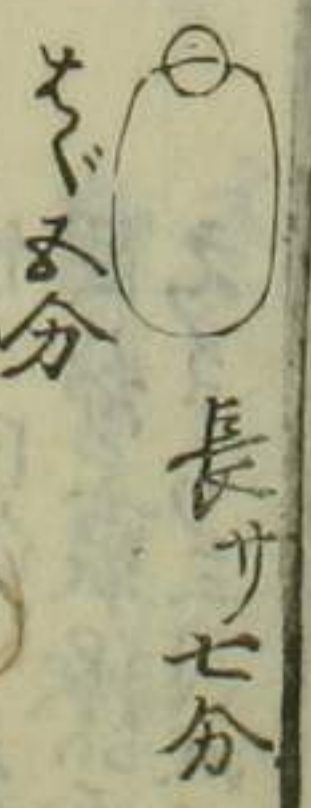
一 長五分六寸五分同寸五分箱五分二寸三分五分也 箱

五分五分五分五分五分五分五分五分五分五分五分五分

- 一 箱まの原と貳分半の蓋同分内一分八厘の箱の
- こませくんの原と貳分半
- 一 棹のしんき寸を分又厘のりんとうて
- 一 同原す六分 箱の内深サ二寸九分
- 一 ともまた輪と一寸 しのり原格箱の九分七分
- 一 原す一分のりんとうのりで格箱の貳寸八分外輪の
- 大きサ一分強くりくろ原格箱の六分四厘
- 一 りんごを棹のりとも一寸二分半決定すりて幅八分
- 遠州筒箱入寸法
- 一 とも八寸四分箱のりとも一寸七分

一 懸鉄の原と縁半で寸

物納水指寸法



- 一 蓋の原と貳分半 箱の原と三分半
- 一 取手の木丸幅九分長八分 とも寸七分蓋のり
- 一 上の用と内の一六寸三分半
- 一 釘抄双のり木どりの七寸五分
- 一 箱のり内は又寸六分半
- 一 釘をこぎの六寸四分のり
- 一 角のり一分半と釘抄はとく
- 一 取手はくの形六分四厘 取手の小口釘は方へんゆのり
- 右物納のりくけつうを相つか釘を抄付く箱のり



はくして用電

其乃多福寸法のみ

- 一 真乃の桶上の指後一巾あり八寸五分
- 一 底指後七寸二分 長テ又寸又分
- 一 平れも寸式寸二分幅一寸又分板は原寸五分
- 一 横乃の長テ八分五厘の原寸又分
- 一 足の長式分但三所より付る寸
- 一 上乃福寸又分下より下乃福の底寸あり
- 一 蓋の原寸三分半 表方めん合也

田炉裏又徳寸法事

- 一 長テ又寸 下福指後一八寸

付り同級ノ事  
田炉裏縁ハ正月  
元ノ事ハ三月廿日

風炉又徳寸法

- 一 長テ三寸又分 下輪指後一七寸

本比縁切  
極月とわり縁

路地げ寸法

- 一 原寸七寸二分 長テ七寸二分半
- 一 度寸二寸九分
- 一 一かたの方寸式分跡乃方二寸又分何れ東乃切丸乃
- 一 西也上より寸式分下の二乃穴下より寸也口方よ
- 一 面とく

紹陽茶酌寸法

- 一 長テ六寸三分 一のく三分七厘六分三分
- 一 中より柄を中七二分式厘 節あり自余曲也但事

茶扱より用 長茶扱と云くあり

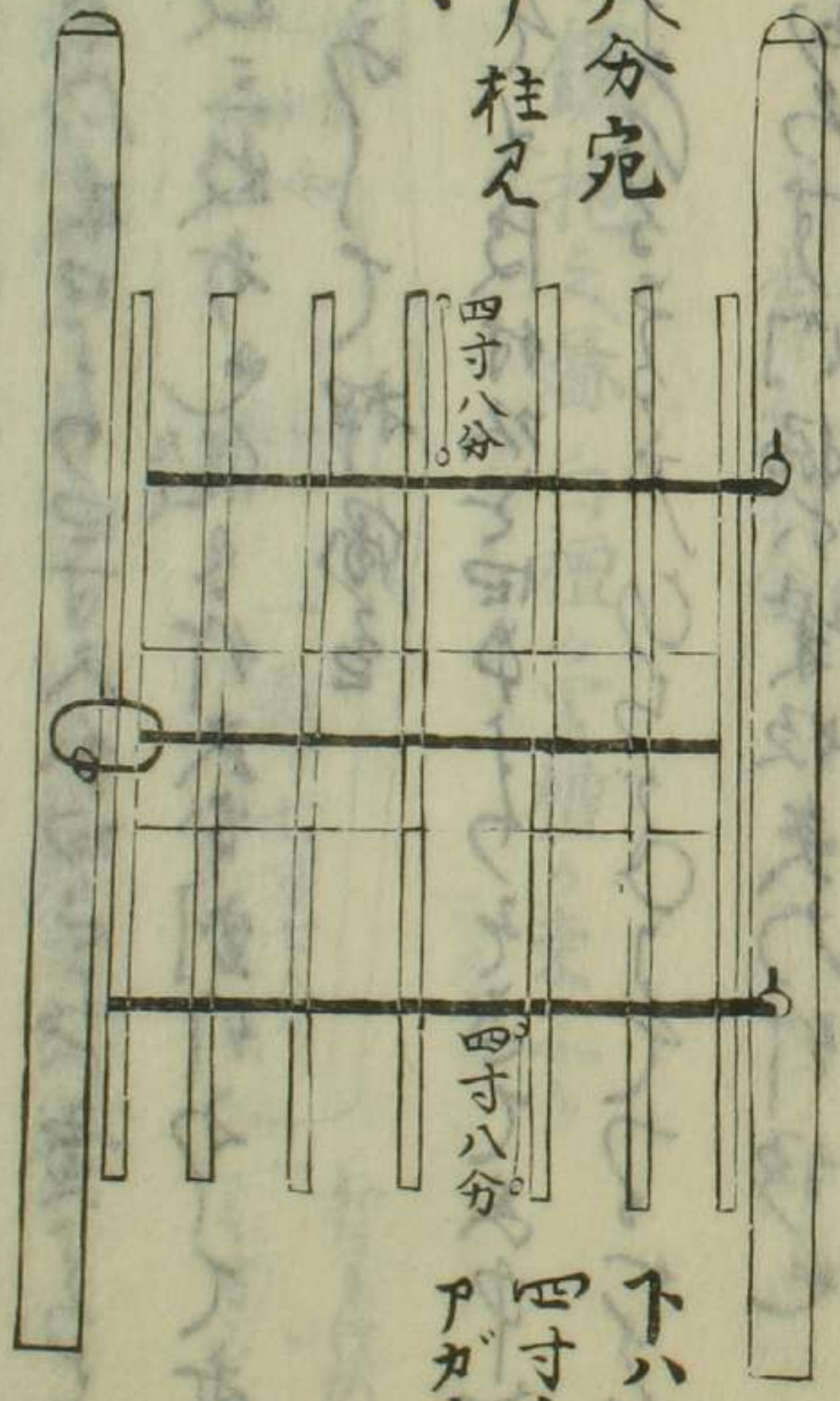
利休茶酌寸法

- 一 長さ又寸又分半但はへうんふの本まで
- 一 一の長さ六寸ふの本より七節と寸寸口分
- 一 節よりと柄まで三寸五分節より一の節まで二半
- 一 節以上節分柄一分九厘節と一の節の原さ又重柄之
- 一 一節より一の節と又分半但は又分より末けん
- 一 一節より寸
- 一 右節の長さ六寸八分四三分は口の長さ

茶扱より用 利休茶酌寸法

- 一 長さ又寸八分
- 一 本より七節と三寸又分よりと曲つと寸

三分ふの本より寸の先まで六分又重りの幅三分一厘  
 本幅三分節の長さより二分先より寸一分八厘  
 右節の長さ六寸七分四厘



一 戸幅八寸又分 長さ八寸又分内  
 一 戸幅八寸又分 長さ八寸又分内

一 函て面を寸又四寸一平を寸計分ぬとらぬ九分厚さ  
又分は但三寸にわく

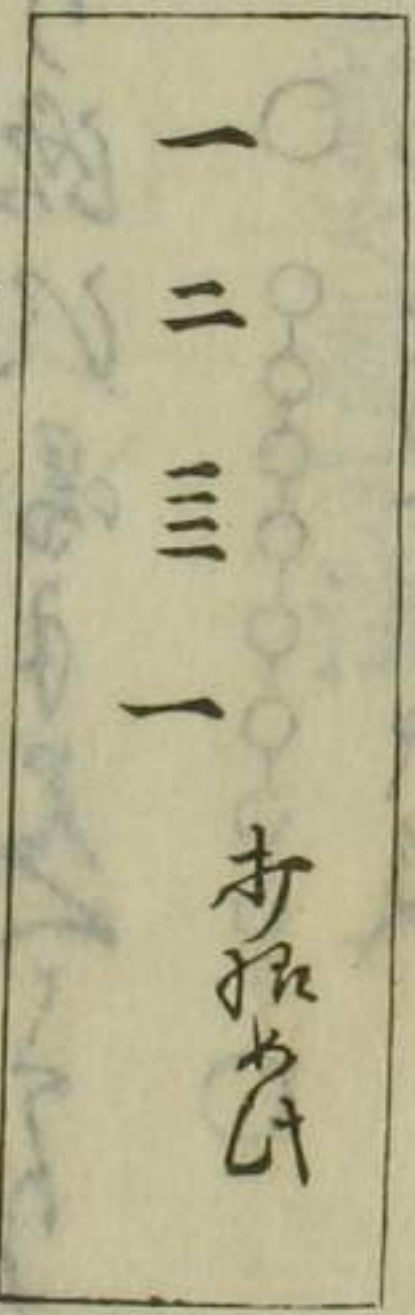
一 板れ打板の下の木口より四寸又分むと上の黄より又分  
さげて板敷三枚打也たて縫目竹又本割竹あて打也但  
五本入ささめして押保を

一 門板の何れも皮付と目ゆるりそぎて真中と二文字  
よ切らる久よゆるさる戸のらごうてつる七寸けがの  
こくろ鎖ありす門板の葉板矢乃竹板也

*Handwritten notes in cursive script, likely bleed-through or additional technical details.*

抱子木打板のしり

今川



長サ八寸五分  
厚サ三寸五分

内のおうま分  
五寸五分  
張かゝぬら  
うら

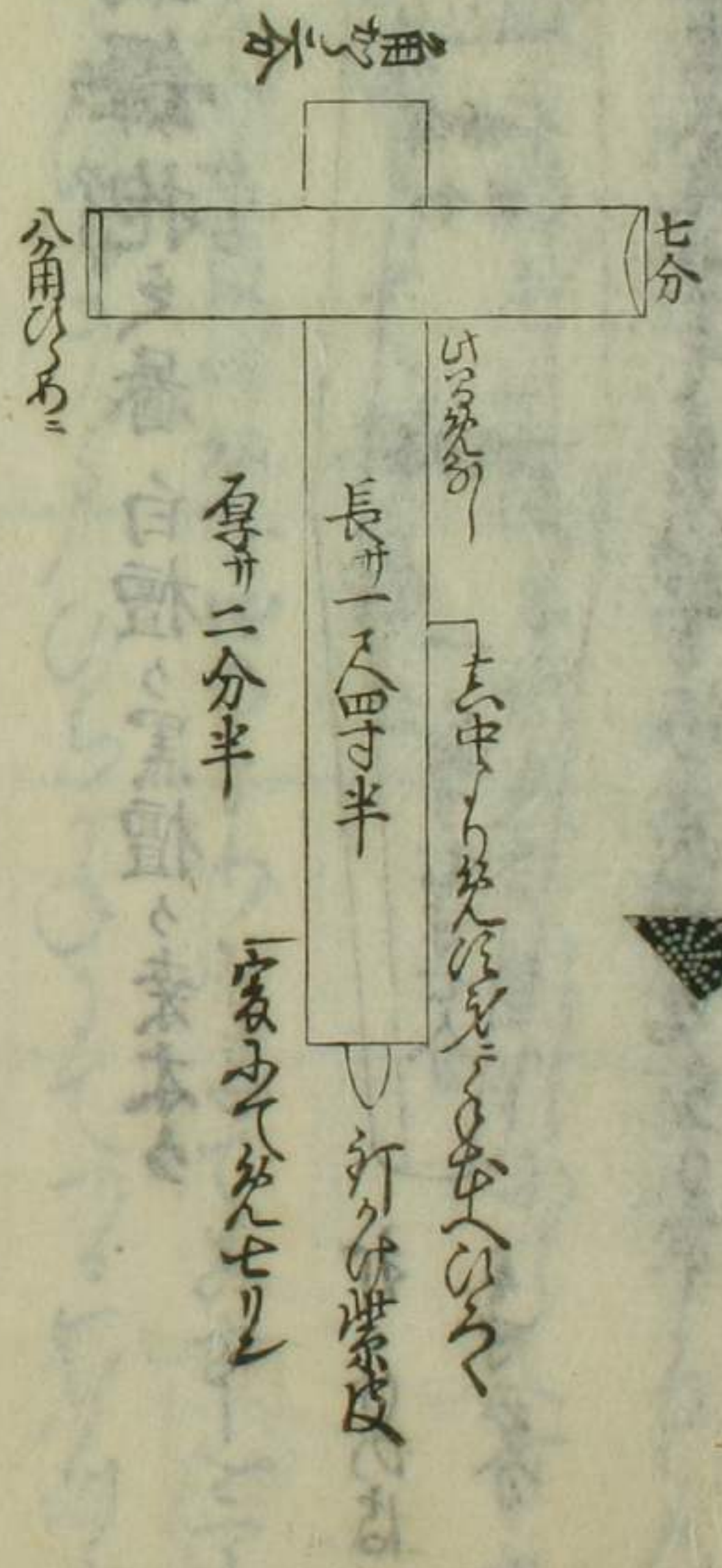
銅鑼抱之番 白檀り黒檀り素木り



釘の皮  
五分五分

本末八角めく角の加へ何れ丸丸丸分り  
の方外丸丸丸とより。○○○。○お板敷敷

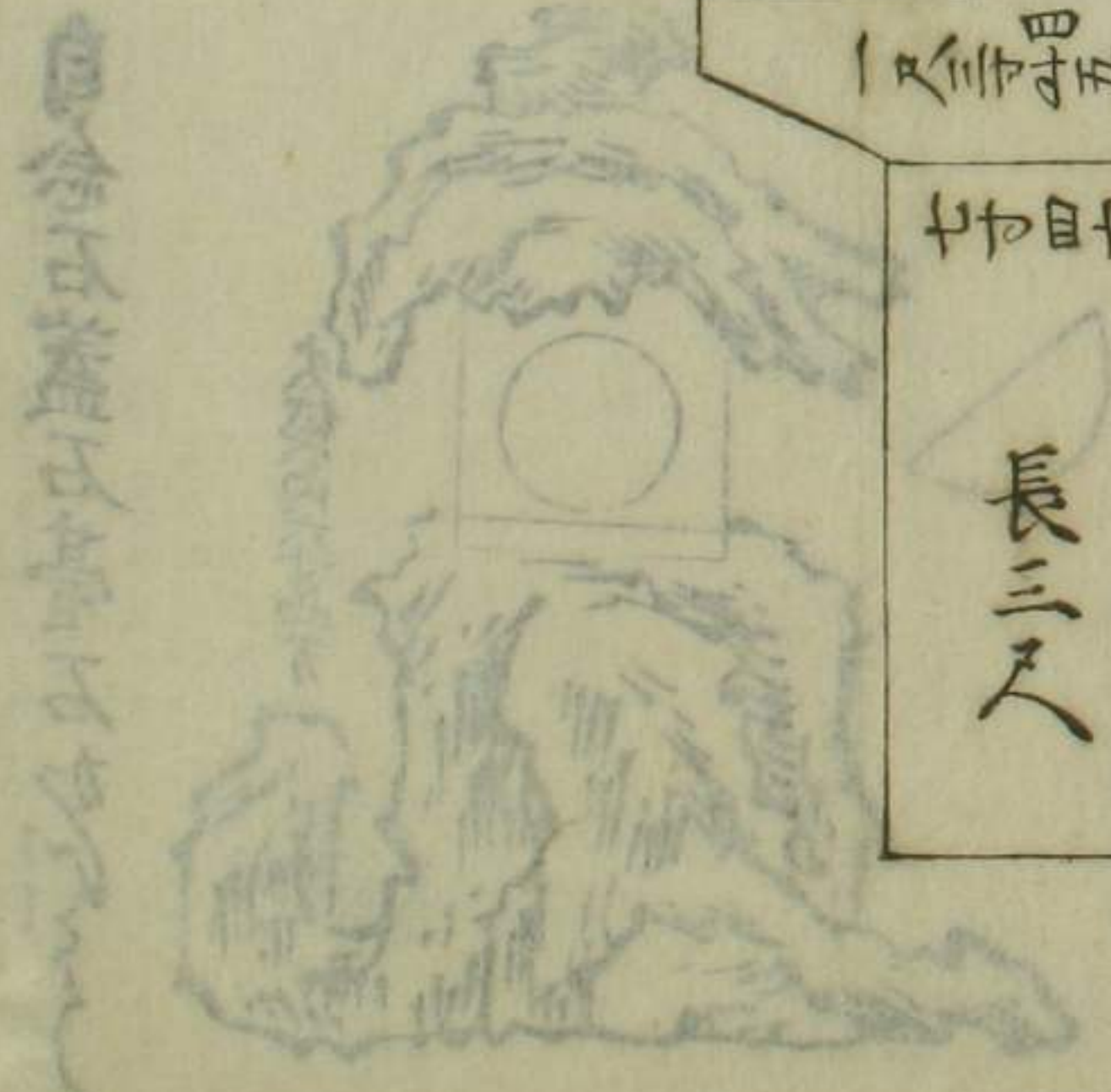
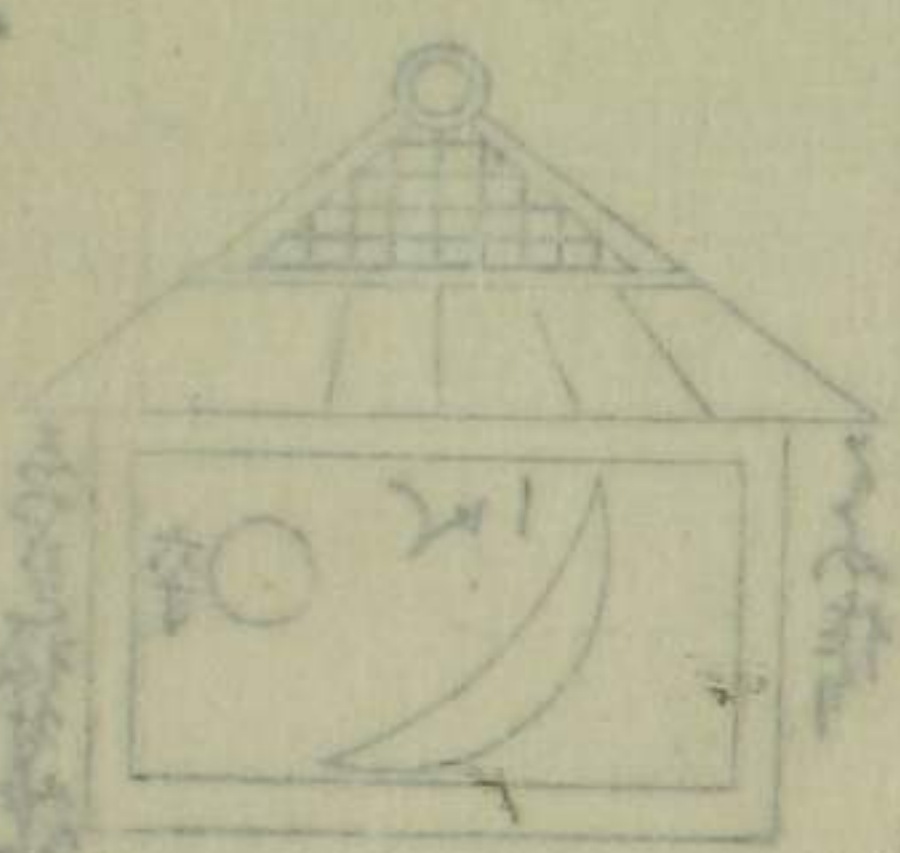
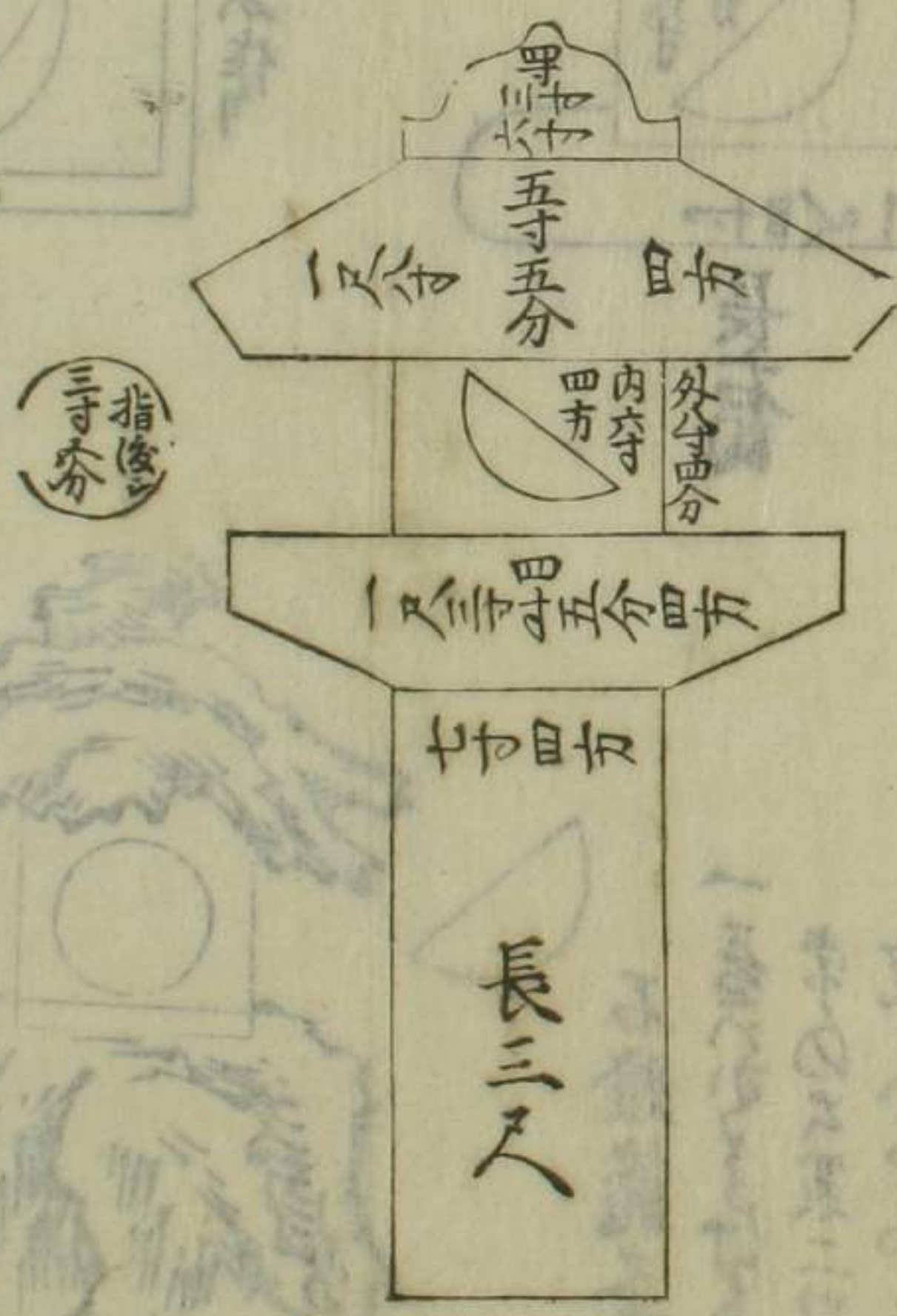
喚鐘の子本の巻



一喚鐘堂とて二階門と浴池とて二階めて歩き  
 宗匠もあり浴池湯は足るなり

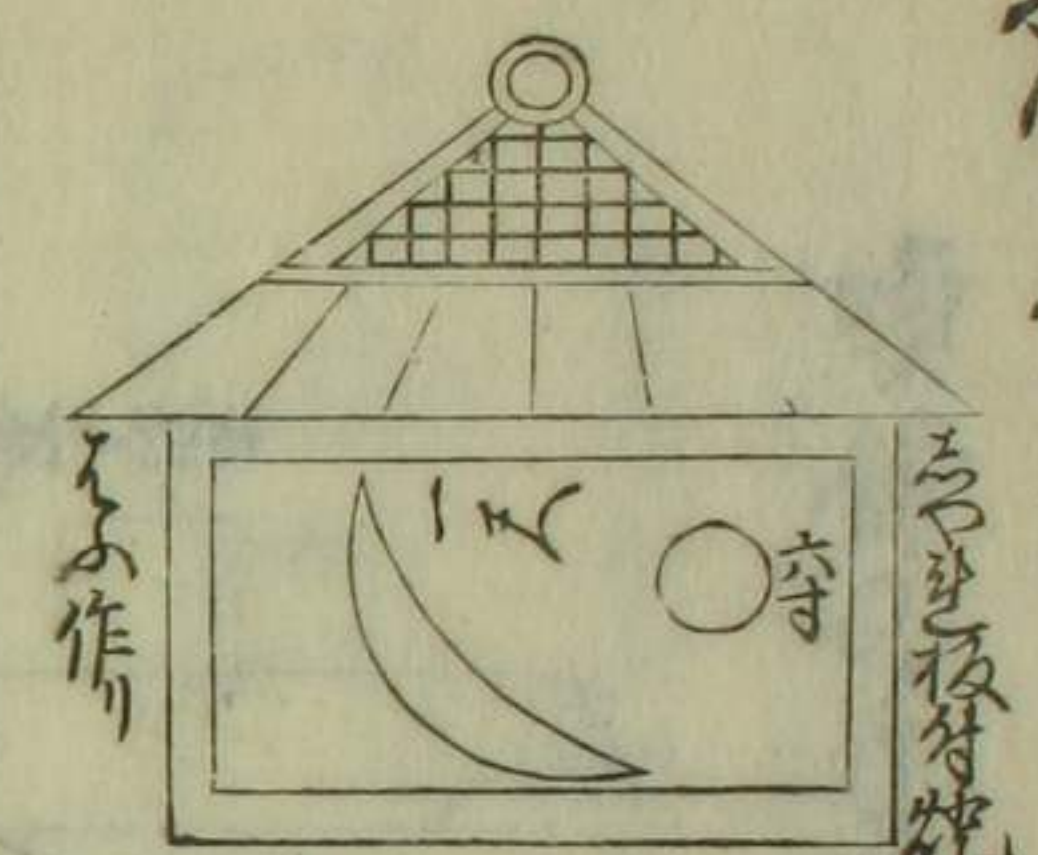
喚鐘のすけけ板

石燈籠之寸法

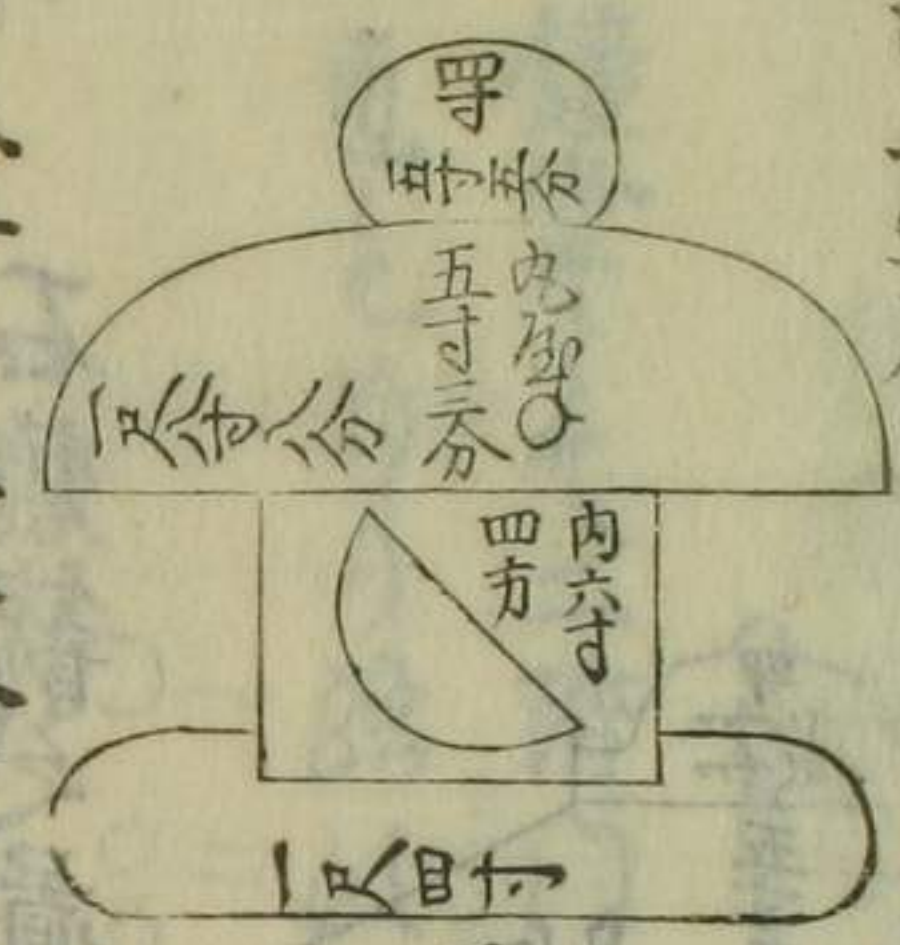


茶三  
 喚鐘の子本の巻  
 石燈籠之寸法  
 喚鐘のすけけ板

茶乃全書



石蓋石



丸蓋石

自念石蓋石臺石かひ



石燈籠之事

一、蓋のかりけも隙子を不空  
常の火盆二ツをて下四角  
焼まゝの形又ハ七角  
一月夜ハ七角の形を  
入地の子細を明とせり

野山



